

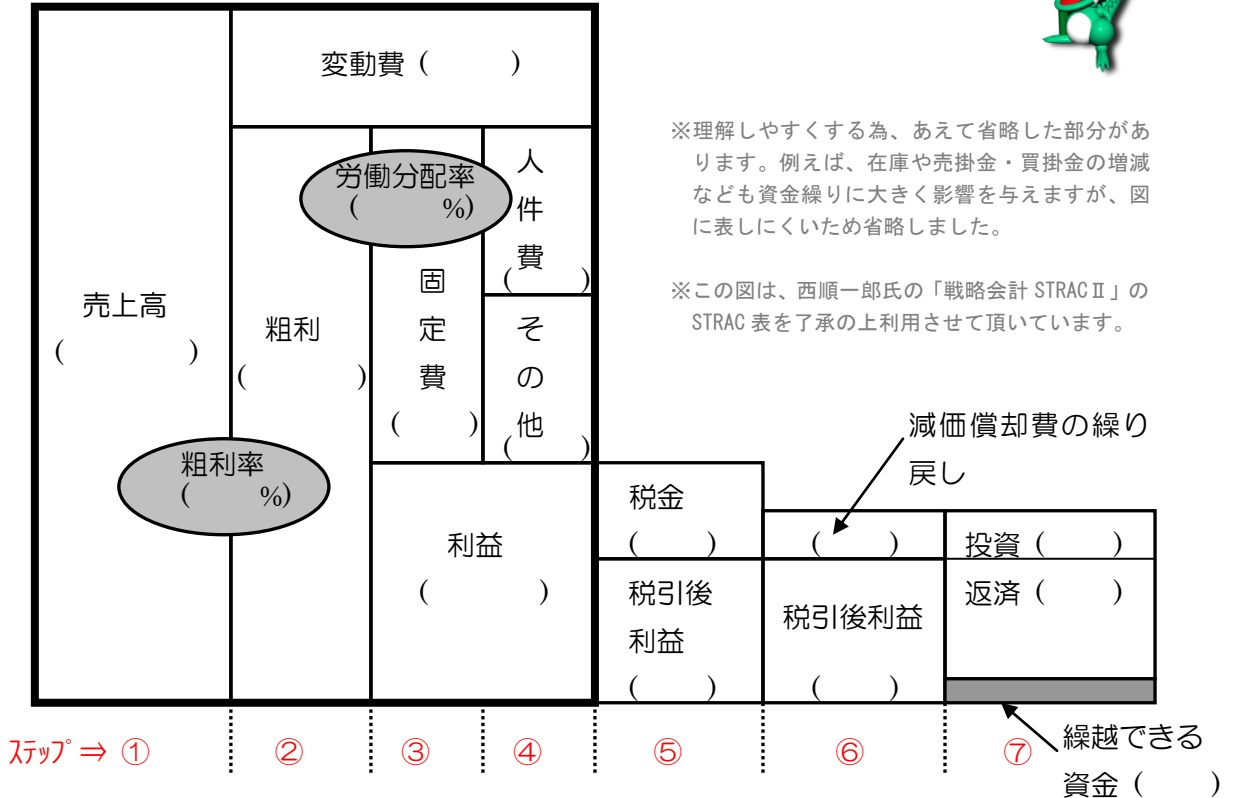
# 超★ドンブリ演習シート あなたの会社のお金の流れをつかもう！

この演習シートは、自社のお金の流れをつかみ、入りと出のバランスをビジュアルで把握し、現状をおおざっぱにつかむためのものです。



## 【会社のお金の流れの全体図】

(単位：千円)



※理解しやすくする為、あえて省略した部分があります。例えば、在庫や売掛金・買掛金の増減なども資金繰りに大きく影響を与えますが、図に表しにくいので省略しました。

※この図は、西順一郎氏の「戦略会計 STRAC II」のSTRAC表を了承の上利用させて頂いています。

## 【この図の作成方法 7つのステップ】 決算書を用意して、次の順に記入しよう！

ステップ①：年間の【売上高】を記入します。

ステップ②：「自社にとっての【変動費】は何か」を確認し、金額を記入します。

※変動費は売上高の増減に比例して増減する。(商品や材料の仕入、外注費等)

それを売上高から引いて【粗利】を記入し、【粗利率】を計算して記入します。

※粗利率は商品や事業内容が同じなら、ふつうはほぼ一定。

ステップ③：【利益】を記入します。(ここでは経常利益)

粗利から利益を引いた金額を【固定費】として、記入します。

※利益目標を確保するには、固定費を「粗利目標－利益目標」以内に抑える必要がある。固定費は売上高の増減に比例せず、一定して定期的に発生する。

ステップ④：【人件費】を記入します。固定費から人件費を引いて【その他】を記入します。

※通常、人件費のしめる割合が高く、固定費の半分以上を占める場合が多い。

そして、人件費÷粗利を計算し、【労働分配率】を記入します。

ステップ⑤：【税金(法人税等)】を記入します。概算でよければ、利益の4割程度を記入。

ステップ⑥：【減価償却費】の繰り戻し額を記入します。

※固定費に含む【減価償却費】は現金支出を伴わないので、お金の流れを見るときは、繰り戻す。

ステップ⑦：【設備投資】【借入金の返済】【翌年に繰越できる資金】を記入します。



©Tatsuya Wani All rights reserved.

\*ステップ①~④(戦略会計)は、(株)西研究所の西順一郎氏による。